

# ちゃんと かわら版 恵庭

恵庭市立恵明中学校の生徒70人が12月22日、市内末広町のスーパー前とJR恵庭駅前赤い羽根募金活動を行いました。



**校外での赤い羽根募金活動**  
恵明中学校の生徒70人が参加

当日の16時、授業を終えた生徒たちは冷え込みが厳しい中、行き交う市民

に募金への協力を呼びかけました。生徒会が中心となつて行っている校外での募金活動は今年で7年目。今回は新型コロナウイルス感染症予防として手袋・マスクを着用し、募金箱はテーブルに設置。赤い羽根は募金者が自分で付けるという形式をとりました。校外での募金と、校内で生徒から寄せられた募金合わせて3万8千84円は後日、

恵庭市社会福祉協議会に届けられました。生徒会会長の津崎青空(そら)さん(2年)は「募金してくれた方からの感謝の言葉や、小さい子どもからの募金が嬉しかったです」と話していました。副会長の山吹海翔(かいと)さん(1年)は「募金してくれたおじいさんが、若い頃は凄いいことなんだと声を



(編集部 伊藤)



恵庭市内で創作活動を行っている団体やサークルなどの活動支援を目的とする恵庭市教育委員会主催の「えにアートギャラリー」が1月11日(月・祝)まで、大型商業施設フレスポ恵み野モール棟(恵み野里美2)で開かれています。

今回展示しているのは、1997年から活動しているアザレア会(中村榮美子代表)会員が手作りしたパッチワークのタペストリーや布小物など12作品。恵庭のマスクトキヤラクター「えびすくん」と「かりんちゃん」をモチーフにしたタペストリーを展示した高山喜代子さん(66歳)は「今年には恵庭が市になって50年の節目。恵庭といえはこの二人と想って作り上げました」と話していました。

この展示は1月12日(火)から1月31日(日)まで、花の拠点「はなふる」センターハウスでも展示されます。

恵庭市教育委員会文化担当の吉川けい子主査は「えにアートギャラリーは今回で4団体目となりました。コロナ禍で出展できない方々の支援になればと思います。多くのサークルや団体、個人(恵庭市民)も出展できますのでお問合せください」と呼び掛けています。参加の問合せや申込は、恵庭市教育委員会文化担当 ☎33・31311(内線1714)まで。

(編集部 伊藤)

## めぐり絵やすべろくを楽しく配布中



恵庭市子ども会育成連合会はこのほど、めぐり絵や間違いさがしなどを収録した冊子『わくわくぶつく』を作りました。連合会は、毎年行っているクリスマス会などの行事が新型コロナウイルス感染症対策のため開催できなかったことから、自宅で子どもたちにも楽しんでもらえるように、冊子に仕上げました。

恵庭市子ども会育成連合会副会長の村本哲治さんは「様々な行事が行えない中で考え付きました。冬休み期間に自宅でも楽しんでもらえたら」と話しています。

『わくわくぶつく』を配布している場所などの詳細は ☎090・7058・6996 村本さんまで。

島松公民館内の「子育て支援センター」に届いたばかりの『わくわくぶつく』を楽しんでいた親子連れは、めぐり絵や間違いさがしなどに挑戦していました(写真)。

(編集部 伊藤)

今、所有している **土地・建物** を手放すことを検討している方

一度 **オフィス上森** にご相談ください。 相談してみよう

**贈与・相続・古家付の土地** についても、専門家と共にスピーディーに対応いたします。

仲介 土地・不動産のことなら

**オフィス上森株式会社** **TEL (0123) 33-6908** オフィス上森 検索

FAX (0123) 29-5659 恵庭市黄金北4丁目6-1 <https://office-uemori.com/>